

合田邸通信

vol.8

令和6年7月4日

令和6年7月から「えじぶとの間」の第2次保全工事及び調査を開始します。主な内容としては屋根部分の垂木以下の調査を行いながら建屋の解体を行っていきます。併せて建具や部材を旧給食センターに運び込み、後の復元のために保管と調査を行っていきます。

（合田邸の活用について）

現在も保全工事を実施中であるため、一般公開はできておりません。合田邸の保全や修復に関しては、完全修復がなされた後に一般公開及び活用という形になると公開や活用はかなり先のことになってしまいます。しかし、文化財の保全している最中といった特殊な状況もなかなか見ることができる機会ではないため、まずは専門的な機関（多度津高校建築科や全国建築家協会四国支部香川地域会など）に限定して、建物の内部の特徴や文化財の保全の在り方を見てもらうような、実習や研修の場として限定的な活用を開始していきます。

今後は施設内の部分的で最低限の安全性を確保できるようになってきたため、一般の皆さんにむけての限定的な公開を行うために準備をしておりますので、もう少々お待ちください。



① 多度津高校建築科の実習の様子



② 全国建築家協会四国支部香川地域会の研修の様子

